

別海町立西春別小学校 学校だより



からまつ No.1

平成30年 4月12日発行 発行責任者 校長 金森 卓哉

スタートにあたり

校長 金森 卓哉

グラウンドから雪が消え、周りの景色と空を映していた水たまりもすっかりなくなり、いよいよ春がスタートラインから跳びだしたという時季でしょうか。4月6日（金）には、始業式と新1年生の2人を迎えての入学式が、保護者の方々、来賓の皆様をお迎えして挙行することができました。スタートは34人と昨年度に比べ減ってはいますが、減った分は現在の児童、教職員で補い元気に出発していきます。

さてこの始業式の時に、今年は「学校が楽しい」と思える学校にしていきたいということをお話しました。では、どんなことを児童の皆さんが頑張るとそんな学校になれるのか考えてみました。そして、児童の皆さんに「3つの目あて」（目標）をお話したのです。それを、頑張ることで「学校が楽しい」と思える学校になると考えました。

その1つめは、

お友達や先生方に何かをしてもらった時に「ありがとう。」「ありがとうございます。」という言葉がたくさん聞こえる学校になってほしいということです。「ありがとう。」「ありがとうございます。」が多く聞こえてくると、きっとこの言葉の仲間の言葉も遣われだして、優しい言葉がいっぱいになってくるではと考えます。

ですから、この「ありがとう。」「ありがとうございます。」という言葉から、始めていこうと考えています。

そして、2つめは、

お勉強です。学校では、まず先生のお話をしっかり聞けることです。学校での学習の基本は、先生の話の聞けることが基本だと考えます。学校での学習をもとにお家に帰ってから、お家の学習もコツコツ続けるようになってほしいのです。自分でもコツコツ学習を続けられることで、目には見えないのですが学習する力がついていくと考えます。学習においてコツコツと「継続」することが最も大切だと考えます。

3つめとして

お掃除や学校や学級でのお仕事をみんなで頑張ってもらいたいことです。「掃除」や「仕事」と聞くと、なんとなく「イヤーな」、そして、「面倒くさーい」という感じを受けてしまいます。でも、しなくてはならないことなのです。みんなで力を合わせてすることで、不満がなくなりますし、楽しくなると思うのです。嫌なこと、大変なことから逃げず、「皆で」という心を掃除や仕事を通して育てていきたいのです。

以上の3つが1年間を通しての目あてとして、頑張ってもらいたいのです。そうすることで、今の学校より更に「学校が楽しい」といえるようになると考えます。

春休みの期間中、融雪剤をいただき雪解けの遅いところに散布させていただきました。また、農園の側の雪の山を崩させていただきました。今年も、保護者の皆様にお世話になったのスタートとなりました。ありがとうございました。

